

# 平成二十四年度 総会報告

五月二十六日(土)十五時よりアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段)の五階「大雪の間(東)」で総会が開催されました。なお、この総会に先立ち十三時三十分より七階の「吉野の間」で理事会が開催されました。

総会には九十八名の方に参加いただきました。今回の総会ではお茶のサービスとお茶菓子(高橋孫左衛門商店提供の翁餅)が用意されました。また、上越タイムズ社から提供頂いた最新の新聞も配付されました。

規定により会長が議長を務め、平成二十三年度の事業報告と決算報告、市民環境部の笹川桂一部長にご挨拶を頂きました。



司会の小坂恵美さん

ついて運営委員を代表して岡村普さんから説明がありました。これらの審議の結果、いずれの議案も承認されました。



上越市の笹川桂一部長



挨拶する和久井会長



質問する大滝さん(大手町出身)



質問する松本さん(東本町4丁目出身)

二十四年度の事業計画と予算の四議案に

# 議事と事業計画

## ◇議案

提出された議案は左記の四議案です。

第一号議案 平成二十三年度事業報告

第二号議案 平成二十三年度決算報告

第三号議案 平成二十四年度事業計画

第四号議案 平成二十四年度予算

提出された四議案とも総会で承認されました。

平成二十四年度事業計画

（案）

## ◇平成二十四年度事業計画（案）

一 会員募集事業（目標会員数七百人）

①新規会員の募集

毎月の「たより」に「ご紹介ハガキ」

を同封

各団体会員会等への働きかけ（Jネット）

ト開催事業への参加案内）

役員、運営委員などによる定期的な

勧誘活動の実施

高校同窓会への勧誘活動（総会時の

チラシ配布など）

同窓会名簿への広告掲載。

②会員のメリットとなる施策検討

・郷人会の事務作業のサポートなど。

③定期便を会員宛に毎月一回送付

・「広報じょうえつ」（1号号、15号号）

（広報の送付を希望しない会員には送付しない）。

二 広報事業（上越市との紹介）

・上越市やJネットの情報を提供する

・「たより」の発行

・会員の近況を紹介する「お元気ですか」の発行

・イベント情報チラシ、特別賛助会員からのお知らせなど送付

②「Jネット会報」の作成

年二回発行（七月、十二月）

③「ふるさとカレンダー」の作成

来年度版は十一月中発送予定

④ホームページの充実

・従来のホームページを廃棄し、新たなホームページ稼働。

・総会やふるさと市場などの情報を掲載。毎月更新。

・過去の会報記（バックナンバー）

・具体的なホームページの案について

は本文記事を参照してください。

三 交流事業の実施

## ○春の交流会の開催

平成二十四年四月十五日（日）～四

月一七日（火）に実施しました。

・村山上越市長に参加頂いた「なま食堂」でのお花見会には四十九名の方に参加頂きました。

・一泊目の「金型あかくら荘」は二十九名、二泊目の「くわどり湯つり村」は二十八名とこれまでで最大の参加者数になりました。

・「朝食バイキング」。

・九時に出発し、名立の道の駅「うみでらす」へ行き、昼食の食材を仕入れます。

・十時に高田の朝市「二七の市」を見学。ここでも食材を仕入れます。

・十一時に正善寺工房。昼食の用意で仕入れた食材で大麩羅バーティ。

・昼食後、「味噌作り」「漬物作り」。

・日できた味噌や漬物を自家に配達。

・頸城観光の大型バスで柿崎へ行き

・「吉川杜氏の郷」を見学。

・日本海に沈む夕日が見える「マリン



金型あかくら荘で宴会を前に記念撮影



村山市長を相手にカズさんのテーブルマジック

後、直江津駅、高田駅で解散しました。

## ○秋の交流会

平成二十三年十月二十一日（日）～二十三日（火）に実施予定です。

今回の交流会は「体験ツアーア」を主題に計画しました。

概ね以下の行程で実施します。

【十月二十一日（日）】

・直江津駅集合（十三時三十分）

・頸城観光の大型バスで「くわどり湯つたり村」へ直行。

・くわどり「市民の森」をガイド付きで案内。広大な「ぶな林」の素晴らしい景色と森林浴を楽しむ。（高齢者には別の見学コースも用意）

・「くわどり湯つたり村」に宿泊。宴会のあと「民俗学の宝庫くわどり」にくわしい講師を予定。

## 【十月二十二日（月）】

・春の交流会で好評だった「朝市」と

・「朝食バイキング」。

・九時に出発し、名立の道の駅「うみでらす」へ行き、昼食の食材を仕入れます。

・十時に高田の朝市「二七の市」を見

・学。ここでも食材を仕入れます。

・十一時に正善寺工房。昼食の用意で

・仕入れた食材で大麩羅バーティ。

・昼食後、「味噌作り」「漬物作り」。

・日できた味噌や漬物を自家に配達。

・頸城観光の大型バスで柿崎へ行き

・「吉川杜氏の郷」を見学。

・日本海に沈む夕日が見える「マリン

ホテルハマナス」に宿泊。

【十月二十三日（火）】

- 朝食は近所の養鶏場の前日取りの卵と柿崎産コシヒカリで「たまご掛け御飯」。

- 朝食後、浜辺で地引網。

- 網が上がったら取れた魚を使つて浜汁。

- 近所の楞嚴寺（りょうこんじ）（上杉四天王、柿崎和泉守影家が建立、「大潟水と森公園（県立）」をガイド付きで散策。

- 近所の公民館の調理場を借りて昼食。浜汁とおにぎり、漬物。

- バスで上越物産センター。

- 直江津駅十四時三十分解散。高田駅に十五時〇〇分着の予定。

- 概ね各施設は了解済。申し込みハガキは六月の「たより」に同封。

- ②Jネットサロンの開催

- 名古屋サロン

- 平成二十四年十月上旬を予定

- 参考加入者一人あたり千円をJネットが助成（約四百円程度の上越の上土産を検討）

- 近畿地区サロン

- 平成二十四年十一月上旬を予定

- 参考加入者一人あたり千円をJネットが助成（約四百円程度の上越の上土産を検討）

- 東京サロン

- 毎月第二水曜日の一七時三〇分

- 東京渋谷道玄坂の運営委員会事

務局にて開催。

会費一千円で上越市の酒蔵を順に

選び、お酒を中心には話を聞く会を検討

立ち開催。平成二十四年度事業中間報告、平成二十五年度事業計画（案）等について審議。

⑤ 納葉書の発行検討

真を納葉書で欲しいとの意見があり制作を検討。五枚セットで五百部作成し

て九万二千九百二十五円。一部あたり百九十九円。

③ 勉強会の開催

・年二回程度、原則として上越市にゆかりのある施設等を見学

ただし、最近では会員相互の交流に主眼をおき、「上越とのゆかり」についてはあるこだわらないことで実施。内容については運営委員会で協議。

③ 運営委員会

毎月第一水曜日十五時三十分から渋谷道玄坂のJネット運営委員会事務局で定期的に開催。

個別事業計画の内容検討や事業執行への協力等について協議。

⑤ ふるさとのまちづくり支援

① ふるさと市場事業の実施

・米を中心とした通信販売

・新規商品（食料品以外も含め）の採用

・産直商品の推薦（各区の総合事務所）

・告及び平成二十四年度事業計画・予算等について審議し承認された。引き続きアトラクション及び懇親会を開催されました。（本文中の報告を参照してください。）

② 毎月チラシの発行

・Jネットのオリジナル商品の開発

② 上越市への協力

・「ふるさと納税」支援事業

・専門員や各種委員会の委員として協力

・首都圏でのイベントに参加協力

③ 文化講演会の開催

・第二回理事会開催時

・次回講演会の講師案検討

第一回理事会

平成二十五年一月二十日（日）

に開催される「文化講演会」に先

審議した。

第二回理事会

平成二十四年五月二十六日（土）

に開催された総会に先立ち開催。

平成二十四年度総会議案について

審議した。

④ ふるさと越後大使事業

・ふるさとP.R.用の名刺作成と配付

⑤ 納葉書の発行検討

真を納葉書で欲しいとの意見があり制作を検討。五枚セットで五百部作成し

て九万二千九百二十五円。一部あたり百九十九円。

⑥ 法被の作成

これまで上越市や新潟県人会などから借用。制作を検討。

最小ロット十枚で概ね一枚五千円。

⑦ その他

・各郷人会との連携

現在、上越市に関連した郷人会の催しには積極参加。郷人会の事務局会議室使用は無料。郷人会の事務代行、準会員等の検討（運営委員会）

・郷人会との関連

Jネットの会長は東京新潟県人会の常任理事（充て職）となつている。郷人会施設の有効利用、県人会報への投稿など。

在京企業等の紹介

上越市の企業等と在京の企業を結ぶ交流（商工会議所等を経由）

・会員への定期的アンケートの実施

・「Jネットに期待すること」「上越市に何を望むか」「その他…」

# 平成24年度 ふるさと上越ネットワーク予算(案)

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

## ■収入

(単位:円)

科 目	平成24年度 予算額	平成23年度 決算額	差引増減	予算額内訳
会 費	2,422,300	2,272,300	150,000	・個人会員（3,000円） 1,584,000 ・個人会員（2,900円ほか） 488,300 ・賛助会員 350,000
負担金	2,502,000	1,593,000	909,000	・総会参加者 400,000 ・文化講演会参加者 407,000 ・春のふるさと交流会参加者 613,000 ・秋のふるさと交流会参加者 550,000 ・名古屋・近畿・東京サロン 500,000 ・勉強会 20,000 ・ふるさと越後大使 12,000
交付金	5,000,000	5,000,000	0	・市交付金
通信販売	150,000	121,013	28,987	
繰越金	130,944	808,995	△ 678,051	
雑 入	220,500	107,142	113,358	・預金利子 122 ・ふるさとカレンダー、他 107,020
合 計	10,425,744	9,902,450	523,294	

## ■支出

(単位:円)

科 目	平成24年度 予算額	平成23年度 決算額	差引増減	予算額内訳
広報事業	3,185,000	3,160,788	24,212	
会員募集事業	395,000	148,875	246,125	・広告、会員募集チラシ 340,000 ・通信運搬費 ・会員証印刷代 55,000
広報事業	2,790,000	3,011,913	△ 221,913	・市広報購入費 280,000 ・会報(年2回)、カタログ作成 600,000 ・ふるさとカレンダー印刷 450,000 ・定期郵便物配送料 900,000 ・封筒他印刷 160,000 ・消耗品・通信運搬費ほか 400,000
交流事業	2,199,840	1,646,348	553,492	・春のふるさと交流会 900,559 ・秋のふるさと交流会 800,000 ・名古屋・近畿・東京サロン 474,281 ・勉強会 25,000
ふるさと支援事業	1,161,310	1,161,310	0	・講演会事業 881,285 ・ふるさと大使事業 38,685 ・通信販売 241,340 ・消耗品・通信運搬費ほか 0
総会開催事業	964,442	964,442	0	・理事会 36,080 ・総会 579,597 ・懇親会 348,765
事務費	2,838,618	2,838,618	0	・人件費、交通費 1,716,780 ・運営委員会事務局費 710,000 ・運営委員交通費助成 298,260 ・会費手数料、郷人会、通信他 113,578
次期繰越金	76,534	130,944	△ 54,410	
合 計	10,425,744	9,902,450	0	

## アトラクション・懇親会

総会に引き続き会場を隣の「大雪

(西)に移動し、アトラクションは待望の真打ちに昇格された瀧川鯉橋師匠です。勝島副会長の司会で直江津出身の瀧川鯉橋師匠の紹介があり、出囃子に乗つて特設の高座に上られました。

「流石は真打ち」と熱演に大きな拍手が寄せられました。Jネットからは真打ち昇るお祝いに「謙信褐紅紫(かちこうし)」で染めた樂屋暖簾を藤田さんから鯉橋師匠に手渡しました。(鯉橋さんに於いては勝島さんの書かれた本文をお読みください。)

続いて四階の「鳳凰の間」に移り懇親会が開かれました。会場に入るとまづウエルカムドリンクです。「岩の原フルーティプラン」を楽しみながら開宴待ちます。懇親会はまず、松川副会長、榎原顧問、佐久間初代会長のご挨拶に続き、上越市の太田課長の乾杯で開宴となりました。

毎回好評の丸茄子にゲンギョ、平八の蒲鉾にこの季節は竹の子と鮭缶が入った謙信汁が用意されました。大鍋二杯の謙信汁が瞬く間に空になりました。お酒も今年は本数を増やした「どぶろく卓」「雪中梅」君の井酒造の「醉鬼」が用意されいずれも大好評でした。恒例の抽選会では岩の原ワインの「深雪花」や上越の日本酒(四合瓶)、高橋孫左衛門さんの詰合せ、農大の有機無農薬の乾燥野菜セット及び毎回好評の「かんすり」など多くの賞品が用意され

ました。又、鯉橋師匠からは飛び入りで扇子や手ぬぐなどが入ったグッズを四点ほど提供いただきました。

また、今回、受付で販売をした本『プロ野球審判ジャッジの舞台裏』の著者山崎夏生さんが飛び入りで挨拶をしてくれました。本は三十冊用意されましたが完売でした。

恒例の全員へのお土産として「(株)ようえつ東京農大」の有機無農薬のお米三合をお持ち帰り頂きました。三日前に渋谷の事務所で精米したものです。



アトラクションの司会をする勝島副会長



瀧川鯉橋師匠の高座

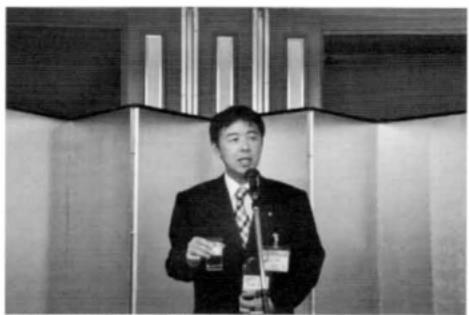




柳原相談役の挨拶



松川副会長の挨拶



上越市の大山課長の音頭で乾杯





元プロ野球審判の山崎夏生さんが飛び入りで挨拶

